

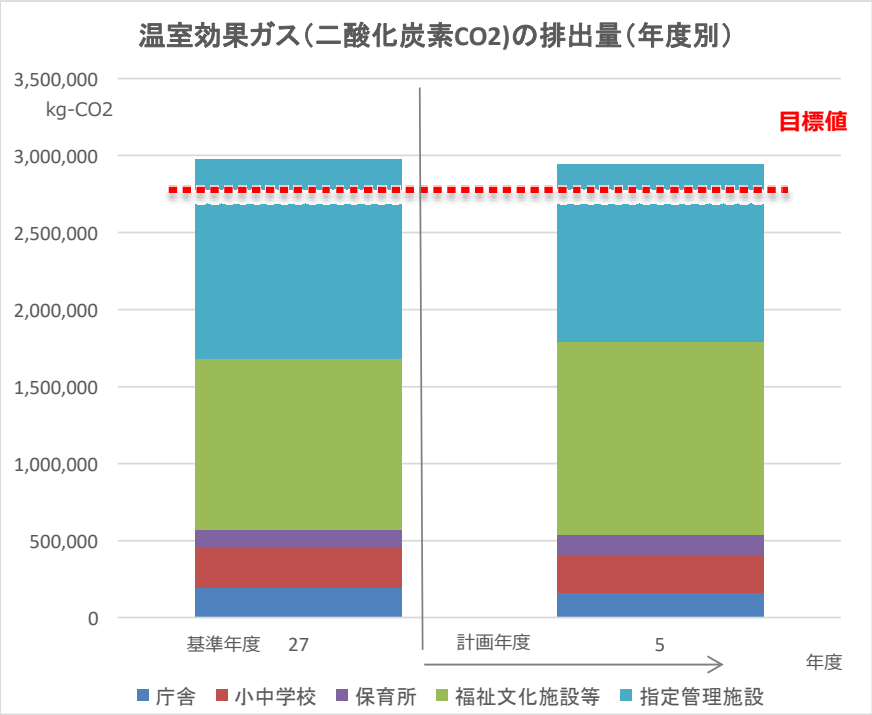
富士川町役場環境保全率先行動計画(第3期) 事務事業編(公共施設)

公共施設等の燃料等の使用実績における温室効果ガス(二酸化炭素CO2)総排出量の状況(平成27年度(基準年度)～令和5年度)

■温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の総排出量(年度別)

単位 : kg-CO2

項目	平成27年度		令和5年度		平成27年度からの削減
	排出量	増減率	排出量	増減率	
庁舎	198,443	100%	165,638	83%	-26,671 -0.90%
小中学校	252,240	100%	236,695	94%	
保育所	115,243	100%	135,751	118%	
福祉文化施設等	1,117,050	100%	1,250,719	112%	
指定管理施設	1,290,768	100%	1,158,270	90%	
合計	2,973,744	100%	2,947,073	99%	
	基準年度		計画年度		



【参考】

■令和5年度のCO2排出量は平成27年度に設定した基準年度の-8%という目標値に対して、目標を達成することはできなかった。しかし、全体のCO2排出量は基準年度、令和4年度とともに減少し、令和4年度と比較すると4%減少している。また、電気のCO2排出量については令和4年度と比較して約12%減となっている。要因として、新庁舎になったことによる使用施設数の減少、エネルギーの効率化等によりエネルギーの使用量が大幅に削減されたためと考えられる。灯油、重油、ガソリン、軽油のCO2排出量は基準年度と比べて20%以上減となっている。

■エネルギー使用量については、平成27年度と比べて、保育所、福祉文化施設等では電気の使用量が増えているが、灯油、重油、ガソリン、軽油については、基準年度と比べ20%以上削減している。一般照明用の蛍光灯が2027年末に、製造・輸出入が廃止になることから、該当する施設において、LED化を進め電気使用量を削減していく必要がある。LPGの項目については使用量およびCO2排出量は増加している。新庁舎となり、空調設備が完備されたことでLPGの使用量が増加した。令和5年度の結果を踏まえ、空調設備等の使用について管理し、今後は削減していくよう努める。